

議長ごあいさつ

市制施行20周年を迎えて

平成17年3月の市町村合併により本市が誕生し、20年という節目を市民の皆さまとともに迎えることができましたことは、誠に慶賀に堪えません。

この20年間、社会・経済情勢は大きく変化してきました。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの生活様式を大きく変えるとともに、DX推進などによる市民生活にも大きな変化を与えました。

同時に、人口減少、少子高齢化は避けられない社会問題となり、地域コミュニティの維持や医療システムの充実が喫緊の課題となっています。

また、頻発化、大規模化する自然災害は、防災対策の重要性を再認識させました。そのような中、市制施行20周年を迎えられ

湯沢市議会議長
高橋 肇



たことは、本市の発展を願う諸先輩方のご尽力と、市民の皆さまの市政に対するご理解、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

市議会といたしましても、市民一人ひとりが安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続き全力で取り組み、市民の皆さまの声を市政に届け、魅力ある持続可能なまちづくりを目指し、より一層努力してまいります。

これからも、市民の皆さまとともに歩み続け、明るい未来を切り拓いていくことをお約束し、市制施行20周年のお祝いのことばといたします。

湯沢市基本DATA

■市章



「ゆ」の文字をモチーフに、緑は力づく成長する稲葉や深緑に輝く山々を、青は市内を南北に流れる雄物川の清流を、楳は活力、歴史および文化を表象しています。

■市の花:サクラ



湯沢市では、前森公園や旧稲庭小学校の「ソメイヨシノ」、雄勝の「枝垂れ桜」、皆瀬では「ヤマザクラ」など様々な種類のサクラがあり、市内のいたるところで観ることが出来ます。

■市の木:ケヤキ



湯沢市内には、県と市の史跡にも指定されている「一里塚」があり、当地の歴史にも大きく関わっています。「槻木（つきのき）」はケヤキの古名であり、現在でも、市民から親しみを込めてそう呼ばれています。

■市の鳥:ヤマドリ



ヤマドリは、秋田県の鳥としても制定され、主に内陸部の山地に生息しており、湯沢市内においても見かける鳥です。つがいでいることも多くあり、見かけた人を和ませています。

湯沢市民歌

作 詞：田中京蔵
補作詞：湯沢市市民歌制定委員会
作 曲：鈴木英史

- 1 山は緑に 空高く
樹々の青さが あざやかに
澄んだ瞳も かがやいて
しあわせ信じ 励み合う
ときめいて湯沢 煌めく星のように
- 2 薫る歴史の 恵みうけ
名所古跡と 語り合い
夢を求めて 人びとは
のぞみを高く 伸ばしゆく
はばたいて湯沢 煌めく星のように



人のつながりで磨かれる、
熱(エネルギー)あふれる美しいまち

湯沢市 20年のあゆみ

20th
ANNIVERSARY
2005 — 2025
YUZAWA

市長ごあいさつ

市制施行20周年を迎えて

平成17年3月22日に湯沢市、稲川町、雄勝町、皆瀬村の合併により新湯沢市が誕生してから20年を迎えました。

合併当初から均衡ある発展に向け、各地域の自然や温泉地、農産物、伝統産業などの豊かな資源を活かした地域振興に取り組んでまいりました。平成24年には市全域が日本ジオパークに認定され、地熱発電所の総出力量はいまや全国屈指の規模となっております。

また、本市と首都圏を高規格道路ネットワークで直結する東北中央自動車道は、全線開通に向け、着実に整備が進んでおります。秋田県の南の玄関口である本市の役割や可能性を高める千載一遇の機会と捉え、全国の皆さまから、単なる通過点ではなく目

湯沢市長

佐藤 一夫



的地として選んでいただくため、魅力向上と情報発信に努めてまいります。

今後も50年、100年と節目を迎えられるよう、人口減少下においても「持続可能なまち」と、市民の皆さま一人ひとりが幸せを実感でき、安心して暮らせる「ウェルビーイングなまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、引き続き市勢の発展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



春

おしらの枝垂れ桜



七夕絵どうろうまつり

夏



秋

小安峽の紅葉



犬っこまつり

冬

2005 平成17年

- 3月 ● 湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村が合併し、湯沢市が誕生
- 4月 ● 初代市長に鈴木俊夫氏が就任
- 7月 ● 「J」湯沢駅「開業」100周年
 - 市章制定



湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村が合併し、湯沢市が誕生

2006 平成18年

- 4月 ● 小安小・皆瀬小の統合による皆瀬小学校 開校
- 8月 ● 湯沢横手道路「須川IC」開通
- 11月 ● 養護老人ホーム「愛宕荘」新築移転
- 3月 ● 湯沢市民歌制定
- 8月 ● 非核、平和都市宣言



第62回国民体育大会秋田わか杉国体

2008 平成20年

- 1月 ● 「湯沢西小学校」新校舎竣工
- 6月 ● 岩手・宮城内陸地震発生「湯沢市最大震度5強」災害対策本部「設置
- 7月 ● ふるさと納税「湯沢市ふるさと輝き寄附金」制度スタート
- 8月 ● 第1回「音楽のまち ゆざわ、サマミュージックフェスティバル」において「音楽のまち ゆざわ」宣言
- 1月 ● リーマン・ショックによる経済雇用情勢の悪化から緊急経済雇用対策本部「設置
- 4月 ● 地場産業振興拠点施設「川連漆器伝統工芸館」オープン
 - 「小安峠温泉総合案内拠点施設」オープン
 - 第2代市長に齊藤光善氏が就任



第1回音楽のまちゆざわサマミュージックフェスティバル

2010 平成22年

- 9月 ● 国道398号 岩手・宮城内陸地震から2年3カ月ぶりに全面開通
- 10月 ● 「第21回ジャパン・サマミュージックフェスティバル」開催
- 1月 ● 記録的な豪雪により「豪雪対策本部」設置
- 3月 ● 東日本大震災発生「災害支援本部」設置
 - 「湯沢市ジオパーク推進協議会」発足
 - 高松小・中山小 閉校
- 4月 ● 岩崎小・湯沢東小・湯沢北小の統合による湯沢東小学校 閉校
- 9月 ● 第1回「全国まるごとうどんエキスポ in 秋田・湯沢」開催



記録的な豪雪により「湯沢市豪雪対策本部」を設置

2012 平成24年

- 1月 ● 市内6観光物産団体の合併により「湯沢市観光物産協会」が設立
- 4月 ● 「小町の郷観光交流拠点施設」オープン
- 9月 ● 「ゆざわジオパーク」日本ジオパークに認定
- 4月 ● 齊藤市長再選
- 10月 ● 釧路市との姉妹都市提携50周年
- 3月 ● 市役所新本庁舎開庁



第1回全国まるごとうどんエキスポ in 秋田・湯沢

2014 平成26年

- 10月 ● 第29回国民文化祭あきた2014「湯沢に集う音楽の祭典」「うるし・うるわし湯沢」漆の祭典「開催
- 3月 ● 須川中 閉校
- 3月 ● 湯沢市市制施行10周年
 - 横堀小・院内小・秋ノ宮小・小野小の統合による雄勝小学校 開校
 - 「小町の郷公園」オープン
- 8月 ● 「全国地熱自治体サミット in 湯沢 沸騰！地熱塾」開催
- 10月 ● 湯沢駅東西自由通路開通、新湯沢駅舎完成
- 10月 ● 雄勝総合支所新庁舎開庁



新本庁舎開庁

2016 平成28年

- 12月 ● 「ゆざわジオパーク」日本ジオパークに再認定
- 4月 ● 湯沢・稲川・雄勝給食センターの統合による湯沢市学校給食センター 開所
 - 第3代市長に鈴木俊夫氏が就任
- 5月 ● 「音楽のまち ゆざわ」推進協議会「発足」「月イチコンサート」初開催
- 5月 ● 降ひょうによる農作物被害発生、被害総額4億1700万円
- 9月 ● 「全国健康福祉祭・ねりんピック」俳句交流大会「開催
- 3月 ● 秋田県立湯沢高等学校・稲川分校 閉校
- 12月 ● 「稲川スキー場スベロッタ」新ヒュッテ「あったまりくな」オープン



湯沢市市制施行10周年記念式典

2018 平成30年

- 5月 ● 「令和靖」の特設窓口を開設、15組が婚姻の届出
- 「山葵沢地熱発電所」運転開始
- 10月 ● 「地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ」開催
- 3月 ● 湯沢市市制施行15周年
 - 湯沢雄勝広域市町村圏組合新消防庁舎 開庁
 - 秋田県立湯沢翔北高等学校雄勝校 閉校
 - 秋田県立湯沢翔北高等学校雄勝校 閉校
- 新型「コロナウイルス」感染症「緊急事態宣言」発令
- 9月 ● 菅義偉氏「秋ノ宮出身」が秋田県出身者として初の第99代内閣総理大臣就任
- 12月 ● 記録的な豪雪により「豪雪対策本部」設置



山葵沢地熱発電所

2021 令和3年

- 1月 ● 災害派遣で陸上自衛隊が高齢者世帯などの除排雪作業を実施
- 2月 ● 「ゆざわジオパーク」日本ジオパークに再認定
- 3月 ● 三関小・須川小 閉校
- 4月 ● 第4代市長に佐藤一夫氏が就任
 - 新型「コロナウイルス」ワクチン「接種」開始
- 6月 ● 秋田県のスタート市として「東京2020オリンピック聖火リレー」開催
- 4月 ● 稲庭小・三梨小・川連小・駒形小の統合による稲川小学校 閉校
- 6月 ● 湯沢市・湯沢市議会・湯沢商工会議所「ゆざわ小町商工会」4者合同で「湯沢市ゼロカーボンシティ宣言」
- 8月 ● 「かたむり山発電所」建設工事 着工
- 11月 ● 「第1回湯沢城下チャレンジラン」開催
- 6月 ● 皆瀬総合支所新庁舎開庁



秋田県のスタート市として「東京2020オリンピック聖火リレー」開催

2022 令和4年

- 4月 ● 「月イチコンサート」来場者数1万人達成
- 7月 ● 湯沢市内で記録的大雨、アメダス観測史上、最高降水量を更新
- 11月 ● 「木地山地熱発電所」建設工事 着工
- 12月 ● 「緑風荘」リニューアルオープン
- 1月 ● 「ゆざわジオパーク」日本ジオパークに再認定
- 3月 ● 「湯沢駅周辺複合施設」建設工事 着工
- 湯沢市市制施行20周年



第1回湯沢城下チャレンジラン

2024 令和6年

- 4月 ● 市内小中学校の給食費を無償化
- 5月 ● 「月イチコンサート」来場者数1万人達成
- 7月 ● 湯沢市内で記録的大雨、アメダス観測史上、最高降水量を更新
- 11月 ● 「木地山地熱発電所」建設工事 着工
- 12月 ● 「緑風荘」リニューアルオープン
- 1月 ● 「ゆざわジオパーク」日本ジオパークに再認定
- 3月 ● 「湯沢駅周辺複合施設」建設工事 着工
- 湯沢市市制施行20周年



新皆瀬庁舎開庁